

日本財政学会報告
公共インフラのガバナンスと財政

2024.10.12

山本 清

報告の要旨

- 人口減少下の国民生活と経済活動の持続可能性のため、公共インフラの整備と維持管理をどうするか？
- インフラの老朽化と同時に新設・気候変動も進行するなかで公共事業の財源と人材確保をどうするか？

重点化・効率化・AI活用で十分か？インフラのガバナンスでよいか？

- 集約化か人の移動を促すにしても、どのように合意形成（何を新設し、維持し、廃棄するか）を図るか
- 全体のインフラのデータ（物理的・機能的・財務的(フローとストック)）が不十分であり、EBPM以前の問題を克服する必要あり。
- ガバナンスを機能させるためにも、上記3種類のデータの連携できる定義と測定と時系列整備が必須。

公共インフラのガバナンスとは？

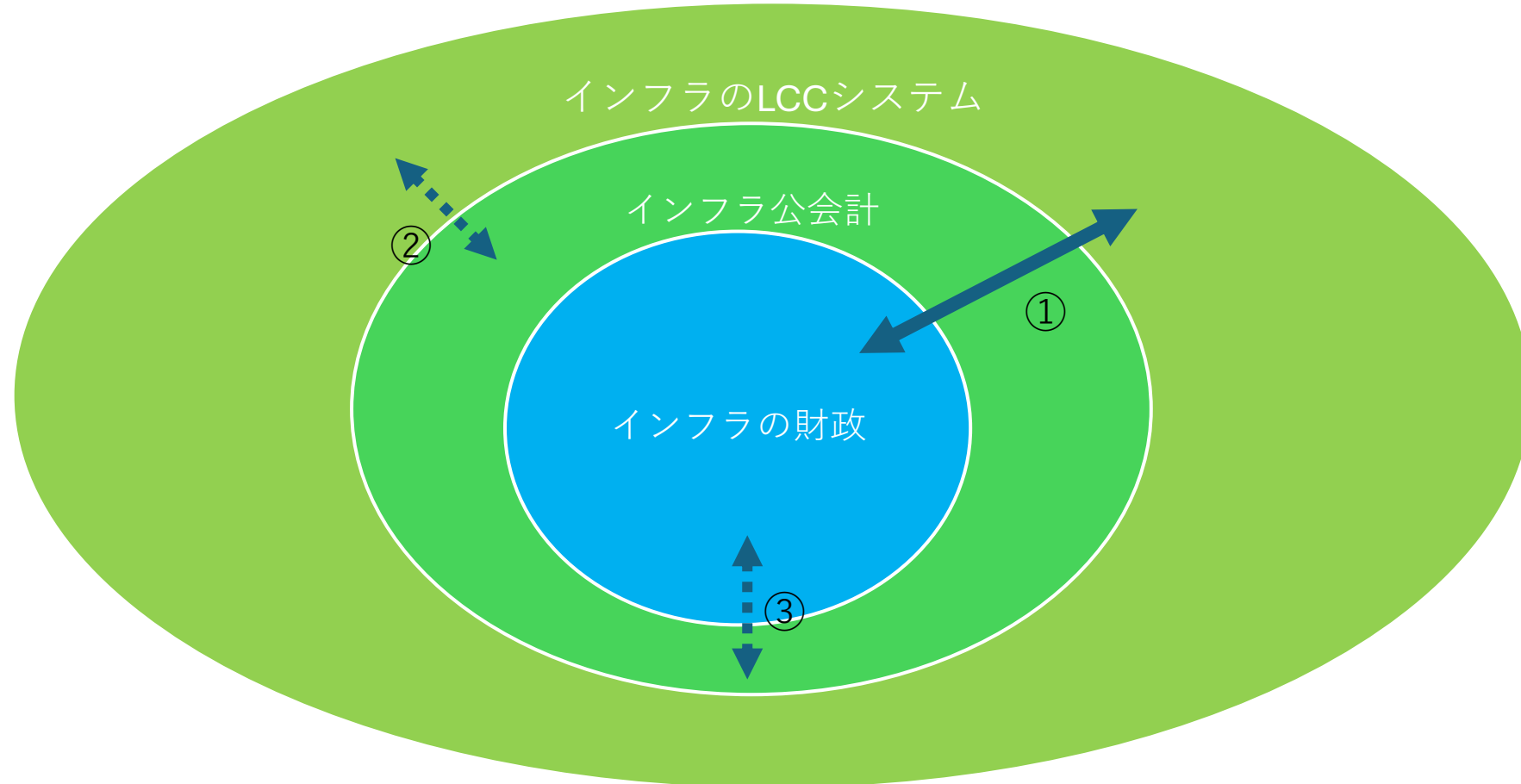
- OECD(2024)によると

「公共インフラストラクチャーの全ライフサイクル(計画から廃止まで)につき、公共機関によって使用される計画、決定、実施及び監視を行う政策、枠組み、プロセス及び用具を指す」(下線は強調)と定義されている。

これはインフラというモノに着目したガバナンスの考え方であり、LCCを通じた管理が特徴とされる。もっとも、このアプローチの限界も(後述)。

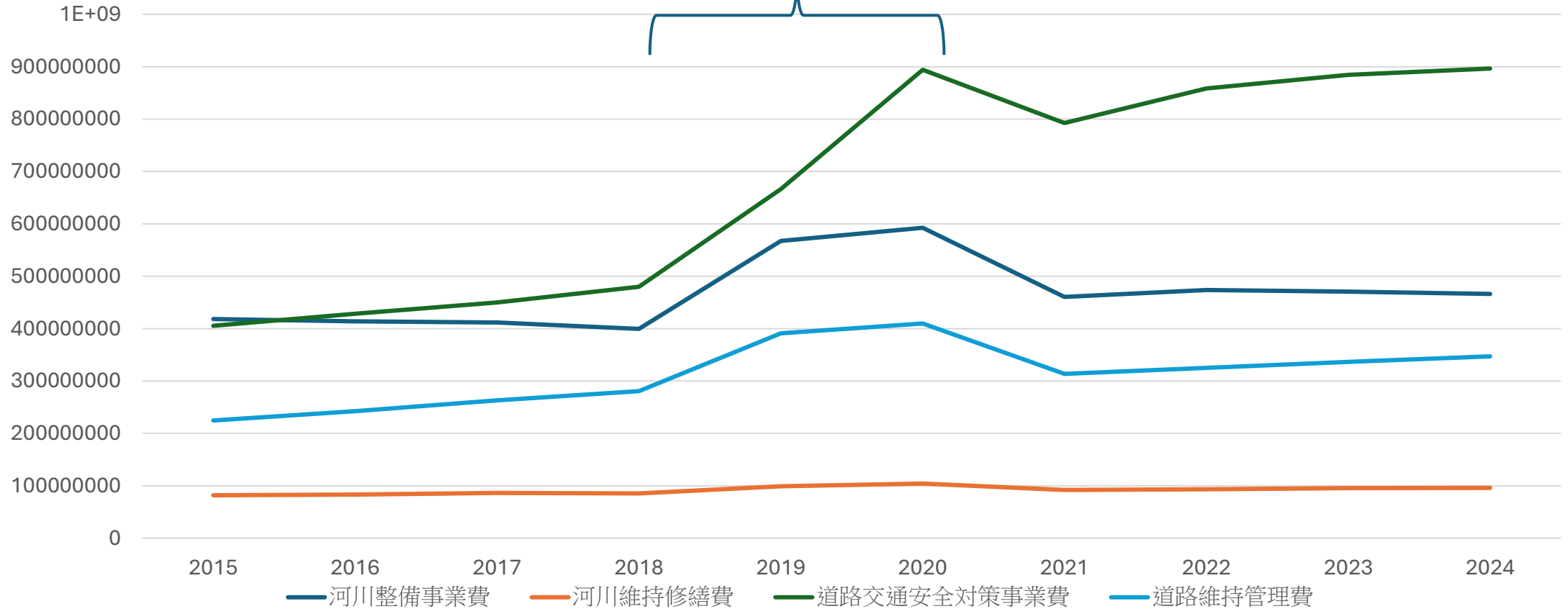
インフラ・システムの管理の提案

- ① 財政とインフラの直接連携: 従来から工学からの提案 (小澤, 2013)
- ② 公会計とインフラの連携 (小林, 2008; 江尻他, 2004)
- ③ 公会計と財政の連携 (山本, 2001; 2023)



道路・河川の整備費と維持費（当初予算ベース）：千円

防災・減災、国土強靱化の
3か年緊急対策



必要な戦略（1）：現状認識と測定

- 物量ベースでも財務ベースでもフローとストックの区分がされていない。

公有財産台帳や固定資産台帳の整備はされているが、数量及び評価(性能)の基準が統一されていない。

- 物量ベースと財務ベースを繋ぐシステムがないか断絶している。

①、②の問題

- 予算科目と会計科目の関係が矛盾している。

③の問題

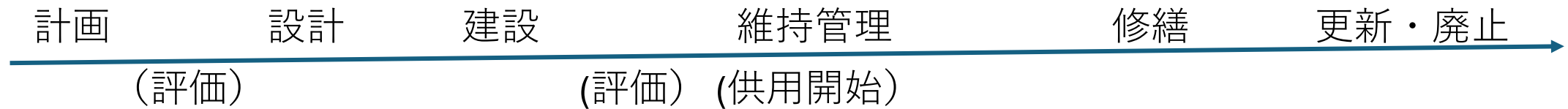
維持管理費と修繕費と建設（改良）費・工事費の区分

戦略（２）：インフラ管理と財政のリンケージ

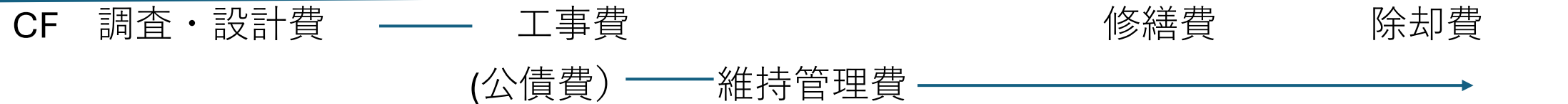
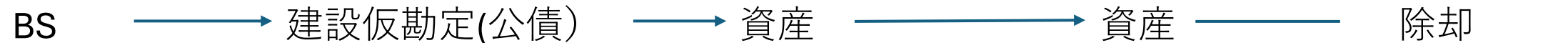
- 必要なストックを維持し機能させる水準を決定する必要がある。
- そのうえで予防保全による維持管理をするにせよ維持管理水準に見合う財源を確保し配分するシステムを確立する。
定期的な修繕や適正な維持管理をしない時のバグログの負債認識など。
- 人口減少や気候変動などにより、インフラとして効用を発揮させることに限界が合理性が十分でない場合には、構造物に代わる対策によるインフラ（グリーンや流域治水の考え方）を考慮すべき。
- 適正な更新資金の調達（建設公債か基金積立か：国と自治体で違う方式がよいか）

補論：相互関係の概要

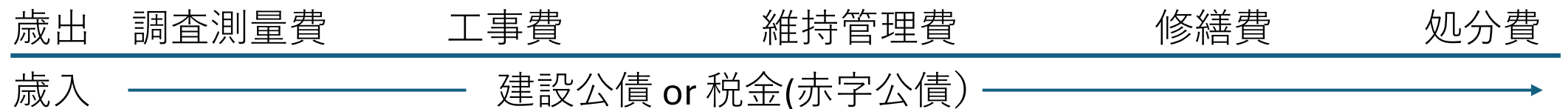
LCC(インフラ・サイクル)



PSA(会計) :別途 行政コスト (業務費用) 計算書 (発生主義の損益計算書相当) もあり



PFM(財政)



戦略（3）：合意形成

- 国土全体での必要なストックの水準を機能面から決定する。
- そのためにはマクロとミクロのレベルでの討議と合意形成が必要。公共施設等総合管理や再配置計画への市民参加、気候市民会議の拡大版、インフラの多くは自治体保有・管理
- 政策と財源及び合意形成の同時決定(効用と負担、現在と将来)
- 公共事業・インフラの正しい認識の必要
- 気候変動などによる新規対応分の機能アップへの財源や予算は地球環境対策の要素もある。環境予算での実施や共同化（既に高等教育の無償化は社会保障関係予算で実施）。

ガバナンス・財政・会計にかかる事項

- インフラのガバナンスかインフラ機能のガバナンスか？
モノかサービスか improving wellbeing through infrastructure or other methods? 代替不可能性の特定化が必要
「インフラ経営」なのか「地域経営」なのか、使い分け
- 予算科目とインフラ管理目的との整合性
新設・更新、修繕、維持管理の概念と予算科目との対応
- 予算科目と会計科目
フローとストックの分離、資本的支出と経常的支出の区分以外に
- 財源措置
評価方法：取得価額 or 再調達価格 or 時価
減価償却・資本減耗の認識と測定
建設公債の対象：維持管理を含んでよいか

参考資料

- 小澤一雅(2013). 「インフラ資産のアセットマネジメントの現状と将来展望」 コンクリート工学, Vol.51, No.2, pp.99-103.
- 小林潔司(2008). 「社会的共通資本としてのインフラ会計」 学術の動向, 3月号, pp.54-55.
- 江尻良・西口志浩・小林潔司(2004). 「インフラストラクチャ会計の課題と展望」 土木学会論文集, No.770, IV-64, pp.15-32.
- 国土交通省(2023). 「新たな暮らし方に適合したインフラマネジメント～インフラ集約・再編の推進に向けて～」
- 山本清(2001). 『政府会計の改革』 中央経済社.
- --- (2023). 「公会計とガバナンス」 青山アカウンティングレビュー, 第13号, pp.99-103.
- OECD(2024). Recommendation of the Council on the Governance of Infrastructure. OECD/LEGAL/0460.
- NAO(2024). The condition and maintenance of local roads in England, HC117.